

テーマ：仕事の進め方

仕事の進め方として最も成果に貢献するファクターは、自分自身を知ることである。

仕事を進める上で最も成果に貢献するものと問われれば「良質な意識」と断言するが、ことプロセスマネジメントにおいては、自身の限界や性格を知った上で、タスクに挑む必要があると考える。

自身の限界を知らなければ無理なスケジューリングに翻弄され、自身の性格を知らなければ合わないタスク管理方法に翻弄されることになるからだ。

とはいえ、どう仕事を進めるのが正解なのか。

タスク管理の方法としては、デスクトップ上に付箋を置く、タスク管理ツールを使うなどが一般的だろう。

しかし、それらが普遍的な正解かといえば、そうではないはずだ。

たとえ、どれだけ使いやすく機能に富むタスク管理ツールを使っていたとしても、結果としてタスクを理解できなければ意味がない。あくまでツールはタスクを管理・共有するのみ。自身がやるべきことの道筋を、自身の頭の中で組み立て実行に至らなければ意味がないのだ。

理解に至るまでの思考や、視覚で得る情報量には、個人差があれば好みもある。

他者に与えられた道筋でしか仕事ができない者がいれば、他者に与えられた道筋では成果を出せない者もいる。

特に好みというのが重要で、例えば好ましくない状態で生み出した結果は、ほぼほぼ好ましくない結果にしかない。その結果が一般的な合格ラインたり得るかは個人の能力によるものが多いが、好ましくないということは最良ではないということだ。

これはタスク管理においても同様のことが言える。

性格的に好ましくないタスク管理方法は、タスクの理解に繋がりにくく、最良の成果を生まない。

自身が取り組む仕事のサイクルは自身で組み立て実行しなければならないのだから、何よりも自身の性格を理解し、精神的負荷の少ない状態でタスク管理については仕事に臨むことが重要と言えるだろう。

しかし、タスクを視覚化する、バッファーをもたせたスケジューリングをする、優先度を設定する等、タスク管理の基本的なところは性格とは関係ないのではないか。

もちろんある程度なら、なানা管理でも業務としてまなるだろう。だが、タスク管理の方法として好ましくない状態ということは、必要なデータを見つけづらい、ツールが使いづらい、そもそも必要なデータの記載がない等の理由から、タスク管理として成り立っていないということだ。そして、タスク管理が出来ていない者は総じて、現状が好ましくない状態だということに気付かないのだ。

割いた労力の割に結果が伴わないのは、こういった、扱いづらいツールを我慢して使い続ける等の小さな積み合わない歯車に気付かない為である。

物事がプラスに働かない我慢は、成功の可能性を潰すだけだ。

仕事をする上で必ず避けて通れないものだからこそ、自身に合う仕事の進め方は、何よりもまず見出すべきだと思う。

また、仕事で多くの成果を上げる人間は、一様にタスク管理も上手い。

成果を上げるためのスケジュールを組む意識があり、そのスケジュールを確実に遂行する実行力を備えているからだ。

ただ仕事を進めるだけならばタスクの管理力だけで十分だが、さらに成果を求めるならば、タスクの実行力も不可欠な要素となる。

実行力とはいっても、人間の能力ばかりに依存するものを指したわけではない。

成果や効率に貢献する因子は、「スキル」「環境」「意識」これらに尽きると考える。

中でも最も重要視する因子は、上述した通り、良質な「意識」である。

もちろんスキルも重要であるし、使うパソコンのスペックや精神的負荷の有無、自身を取り巻く物理的な環境等も少なからず業務の成果に影響するところはあるだろう。

しかし、どれほどの技量・知識を有し、高い処理能力を備えたパソコンを使おうと、仕事に対して自身の力を活用したいという意識がなければ、せっかくのスキルも高スペックなパソコンも最大限の力を発揮することは無いのだ。

「スキル」を使う意思がなければ、ただ知っていたところで結果は伴わない。

活用する意思がなければ、ただ使っていたところで成長はない。

覚える意思がなければ、成功の可能性すら生まれない。

「環境」においても同様に言える。

スペックの高いパソコンを所有していても、活用する意思がなければ宝の持ち腐れだ。

常に、物事に対する最善の努力ができなければ、成長はない。

そもそも限りなく成長する気がない、仕事に成果を求めない状態の人間に、理想の結果を出せというのは無茶振りに等しく、優れたタスク管理も見込めないだろう。

そういった意味では、タスク管理においても「意識」というものは重要なファクターと言えるだろう。

以上のことから、仕事を正確かつ迅速に進める為には、自身に見合ったタスク管理方法を見出し、完遂までの道筋をイメージし計画を立て、目的意識をもって実行することが根本的に大事であるとする。